

年	種別	文献	著者・論文・特記事項
2015年 3月	論文	『紀要』史学第60号, 中央大学文学部	小林謙一「日本海をめぐる新石器時代の年代対比のために——水多里貝塚出土土器附着物の炭素14年代測定——」
2015年 3月	その他	『福岡県文化財センター白河館研究紀要2014』	吉野滋夫・佐藤啓・國井秀紀・三浦武司・山本友紀・柿沼梨沙「まほろん収蔵資料に関するAMS年代測定結果の集成」
2015年 3月	論文	『鹿児島史学』第60号	立神倫史「縄文時代の始まりと土器使用開始に関する一考察——南九州地域を中心に——」
2015年 5月	研究発表	『日本考古学協会第81回総会 研究発表要旨』	小林謙一・坂本稔・米田穰「趣旨説明 縄紋時代草創期から早期の年代と文化変化」、遠部慎・一木絵理「縄文海進と環境・文化の変化過程」、國木田大「極東地域東北部における縄文草創期から早期の年代的位置づけ」、三好元樹・及川穰「石鍬石器群成立年代と生業諸活動の変化過程」
2015年 5月	論文	Radiocarbon Vol57, No4	Akiko Horiuchi, Yoshiki Miyata, Nobuhiko Kamijo, Lucy Cramp, Richard P Evershed 2015 ADietary study of the Kamegaoka culture population during the final Jomon period, Japan, using stable isotope and lipid analyses of ceramic residues
2015年 5月	動向	『縄紋時代』26	小林謙一「2014年の縄文時代学界動向 関連科学 年代測定」
2015年 7月	研究発表	『日本文化財科学会第32回大会研究発表要旨集』	山田しょう・早瀬亮介・小原圭一・鈴木雅・百瀬忠幸「焼骨の放射性炭素年代測定の確度——縄文時代の煨焼した獣骨・人骨の分析——」、國木田大・松崎浩之・山原敏朗・石川朗「北海道東部における縄文時代早期の年代測定と食性分析」
2015年 8月	論文	Anthropological Science Vol. 123, Num2	Takashi Gakuhari and H. komiya, J. Sawada, T. Anezaki, T. Sato, K. Kobayashi, S. Itoh, K. Kobayashi, H. Matuzaki, K. Yoshida, M. Yoneda, 2015 Radiocarbon dating of one human and two dog burials from the Kamikuroiwa rock shelter site, Ehime Prefecture
2015年 10月	論文	『第四紀研究』第54巻第5号	一木絵理・辻誠一郎・杉山陽亮・村木淳・宇部則保・中村俊夫「青森県八戸市の縄文時代早期貝塚出土試料の ¹⁴ C年代と海洋リザーバ効果」
2015年 10月	論文	人文研紀要』第81号, 中央大学人文科学研究所	小林謙一「横浜市内出土縄紋土器附着物の炭素14年代測定研究」
2015年 12月	論文	『国立歴史民俗博物館研究報告』第196集	小林謙一・坂本稔「縄紋後期土器附着物における調理物の検討」、工藤雄一郎「王子山遺跡の炭化植物遺体と南九州の縄文時代草創期土器群の年代」

縄紋研究における炭素 14 年代測定の研究年表（小林）

年	種別	文献	著者・論文・特記事項
2016年 3月	論文	『伊勢湾考古』25	安藤雅之訳・高橋秀光編「Radiocarbon dating of charcoal and bone collagen associated with early pottery at Yuchanyan Cave, Hunan Province, China—中国湖南省 Yuchanyan（玉セン岩）洞窟の初源期土器に伴う木炭と骨コラーゲンの ¹⁴ C年代—」, 遠部慎「縄文時代早期の炉穴利用の変化—九州地方における炭化球根類の年代値集成—」
2016年 3月	その他	『福島県文化財センター白河館研究紀要2015』	福島県文化振興財団・(株) 加速器分析研究所「まほろん取蔵資料のAMS年代測定結果報告（平成26・27年度分）」
2016年 3月	論文	『東邦考古』40号	小林謙一「千葉県内における縄紋時代前期末葉から中期の炭素14年代測定」
2016年 3月	論文	『国立歴史民俗博物館研究報告』第200集	小林謙一・工藤雄一郎「韓国蔚山市細竹遺跡における新石器時代の土器付着炭化物の分析」
2016年 4月	単行本	『縄文時代の食とすまい』ものが語る歴史シリーズ32	小林謙一「炭素同位体分析による居住期間・住居の寿命と生業」
2016年 5月	動向	『縄紋時代』27	遠部慎「2015年の縄文時代学界動向 関連科学 年代測定」
2016年 6月	研究発表	『日本文化財科学会第33回大会研究発表要旨集』	小林謙一「AMS ¹⁴ C年代測定による縄紋堅穴住居の埋没状況」, 宮田佳樹・南雅代・下濱貴子・長尾誠也・多田洋平・佐野雅規・中塚武・中村俊夫「動物骨の放射性炭素年代と安定同位体組成を用いた水稲稲作安定期の北陸地方の遺跡環境億元—八日市地方遺跡を例として—」
2016年 6月	論文	『Anthropological Science』Vol. 124 (1)	佐伯史子・安達登・米田穰・鈴木敏彦・澤田純明・角田恒雄・増山琴香・尾壽大真・大森貴之・萩原康雄・奈良貴史「大船渡市野々前貝塚縄文時代人骨の形態人類学および理化学的分析」
2016年 9月	研究発表	『日本第四紀学会講演要旨集』46	中村俊夫・高田秀樹「能登半島中部富山湾岸に位置する真脇遺跡出土木材群の ¹⁴ C年代編年」
2016年 9月	論文	『植生史研究』第24巻第2号	工藤雄一郎・綱谷克彦・吉川純子・佐々木由香・鯉本真友美・能城修一「福井県鳥浜貝塚から出土した大型植物遺体の ¹⁴ C年代測定—縄文時代草創期から前期の堆積物層序と土器型式の年代の再検討—」